

もの忘れ外来のご案内

○もの忘れ外来とは

主に物忘れが気になりな方、脳を詳しく調べてほしい方を対象とした外来です。

物忘れは年を取ればだれでも増えるものです。年相応のものもありますが、認知症のような病気からくるものもあります。それらの原因を調べることから始め、必要に応じて投薬、介護保険の申請など行い、症状、環境に合わせた日常生活での注意点などお話をさせていただきます。

○もの忘れ以外の気になる症状

「よく探し物（通帳など）をするようになった」「料理中、鍋を焦がすことがある」「趣味や習い事に急に興味がなくなった」「急に怒りっぽくなった」などこれらのことがみられた場合も受診をおすすめします。

○もの忘れの原因となる病気

病気である場合、原因には様々なものがありますが、アルツハイマー病、脳血管性のものが多いですが、うつ病、薬剤性（今飲んでる薬によるもの）、外傷の場合などもあります。

○一般的な診療の流れ

①問診②検査：認知機能検査（記憶のテスト）、画像検査（MRI、CT）、血液検査、脳波検査など③結果説明④生活上の注意点、環境整備のアドバイス、投薬開始など

○受診についてのポイント

・もの忘れの原因がアルツハイマー病であった場合、根本的に治すことは不可能ですが、内服により進行を遅らせることは可能です。そのためには早期受診が重要です。またうつ病、外傷によるものなど、治療可能なものもありますので、この場合でも重症化する前に治療することが大切です。

・診察には丁寧な問診が必要なため、「予約制」にさせていただいております。ご本人の家族など生活状況がわかっている方と一緒に来ていただくと問診に役立ちます。また現在内服薬がある場合はお薬手帳をお持ちください。

